

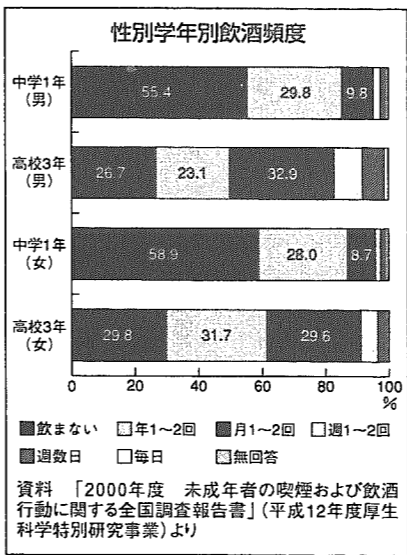
飲ませない、買わせない 未成年者の飲酒防止

近年、子どもの飲酒が増えています。成長期にある子どもの飲酒は、体や精神の発達に悪い影響を与えます。子どもの飲酒を防ぎ、将来を守るためには、地域や社会、そして周囲の大人が協力し、子どもにはお酒を「飲ませない」「買わせない」という環境を作っていくことが大切です。

◆高校3年生の約3割が

月1、2回飲酒

平成12年度における中学生、高校生を対象とした飲酒行動に関する調査によると、学年が上がるにつれて、お酒を飲む人の割合は高まり、高校3年生では、男女ともに、およそ3割が月に1、2回飲酒をしていると答えています。また、飲酒をすると答えた中高生のう



学年別にみたお酒を手に入れる方法

	中学1年	高校3年
1位	家にあるお酒	コンビニエンスストアなど
2位	コンビニエンスストアなど	家にあるお酒
3位	友人・知人からもらう	居酒屋など

資料「2000年度 未成年者の喫煙および飲酒行動に関する全国調査報告書」(平成12年度厚生科学特別研究事業)より抜粋

ち、低学年では、家にあるお酒を飲んでいく割合が高いのに対し、学年が上がるにつれて、コンビニエンスストアやスーパーマーケット、自動販売機などで購入する割合が急激に高まっています。飲酒をすると答えた高校3年生のおよそ6割が、お酒の入手経路としてコンビニエンスストアなどをあげており、さらに、およそ4割は居酒屋などで飲酒すると答えています。

◆成長期の心身に及ぼす影響

成長期の子にとつて、お酒に含まれるアルコールは、身体的、精神的に悪い影響を与えます。例えば、お酒を子どものころから飲んでいると、成長期の内臓に強い負担をかけるため、肝臓や胃腸などの疾患を起



こしやすくなります。また、脳を萎縮させ、記憶力や集中力といった学習能力を低下させることが分かっています。

さらに、慢性的な飲酒が続くと、学習意欲が低下したり、衝動的、暴力的な行動が増えたりと、精神的にも悪い影響を与えるほか、若年性アルコール依存症にもつながります。

こうした効果は一時的なものではなく、子どもの成長にとつて、取り返しのつかない悪影響を与えるのです。

◆未成年者には売れません!

子どもの飲酒を防ぐため、平成15年9月から、酒類の小売店においては、酒類販売管理者の選任が義務づけられ、この者を中心に、未成年者と思われる人に対する年齢確認などの取り組みが行われています。

また、酒類の陳列場所や自動販売機、さらには、チラシやインターネットなどのオンラインショップには「未成年者の飲酒は法律で禁止されている」旨の表示が義務づけられています。

◆子どもに「飲ませない」「買わせない」

お酒は、季節の行事などとのつながりも深く、子どもが、家族に勧められてお酒を飲むケースも多いようです。しかし、たとえ少量でも、飲酒は子ど

横越町のまんだ道を覗いてみよう

横越歴史探訪②

水運の要衝、穀倉地帯として栄えた横越

横越島村の誕生

横越島の名は、文禄5年(1596)の古文書に見られますが、村としては、慶長年間の新発田藩史料に「百九拾六石四斗六升 横越島村(本津一市村共)」と記されているのが最初です。

江戸時代の横越は、新発田藩横越組(後に蒲原横越組)の大庄屋所在地として、横越島一帯の約110数か村(新潟市の一部と、亀田町、横越町

慶長15年(1610)から77年間にわたり、新発田藩の支藩沢海藩1万4千石が置かれました。新発田藩初代藩主溝口秀勝の二男善勝が分地をうけ、二代政勝の時、当時水運が交通の重要な手段であった背景から、会津へ通じる阿賀野川と、信濃川へ通じる小阿賀野川の分岐する要衝沢海の地を居城に定めたものです。

城下町として栄えた 沢海藩



大栄寺には沢海藩主溝口家の墓所がある

現在残されている沢海城下町絵図によれば、高くそびえる城ではなく、陣屋風の城で、その位置は現在の阿賀野川床固め付近です。小藩ながらも、沢海は城下町として栄えましたが、三代政良の嫡子が若くして死去し、養子の四代政親が跡を継いでからは、家臣との争い事に巻き込まれ、沢海藩は取り潰しとなりました。

沢海の地に 代官所や陣屋が置かれる

貞享4年(1687)の沢海藩改易後、藩の所領は、一時幕府直轄領となり、その統治のため、現在光円寺がある場所に20年ほ

ど沢海代官所が置かれました。宝永4年(1707)に、沢海は旗本の小浜氏(6千石)の知行地となり、小浜氏は代官所の場所に陣屋を構えました。小浜氏は7代にわたって統治し、明治維新を迎えました。このため、沢海は新潟市近郊でも珍しい城下町の景観を今にとどめています。

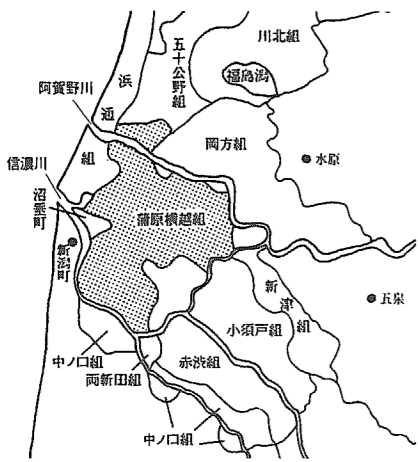


代官所や小浜氏の陣屋があった光円寺

響いたと伝わります。戦いでは新政府軍の奇襲作戦が功を奏し、会津・米沢藩軍は新潟方面へ敗走しました。

小阿賀野川の戦闘終結後も、多くの新政府軍兵士が横越地域を通行していますが、戦争という現実の中で、横越地域の農民は、銃隊や力夫として新政府軍に使役されたり、船や食料の供出などで重い負担を強いられました。

ところで面白いことに、中世上杉氏ゆかりの越後では、戊辰戦争にあたって奥羽越列藩同盟軍側に期待を寄せた動きがありました。横越地域でも下木津村庄屋の石井家は米沢藩に協力するため、直接藩主に拝謁に行っており、沢海の伊藤家などは500両もの資金を米沢藩に融通しています。



天保ころの蒲原横越組の範囲図

新発田藩初代藩主溝口秀勝の越後入部直後に作成されたと推定される「御領内高付帳」に記載された「横越島村」。新発田市立図書館所蔵。

新発田藩初代藩主溝口秀勝の越後入部直後に作成されたと推定される「御領内高付帳」に記載された「横越島村」。

新発田藩初代藩主溝口秀勝の越後入部直後に作成されたと推定される「御領内高付帳」に記載された「横越島村」。